

令和3年8月30日

川西市立学校 保護者様

川西市教育委員会

オンライン学習についての基本的な考え方

新型コロナウイルスの感染拡大による不安等により登校を控えるお子様に対し、緊急事態宣言下についてはオンライン学習等による支援を行うことといたしました。このオンライン学習について、いくつかのお問い合わせがありましたので、現時点での学校の状況及び教育委員会としての考え方を以下にまとめましたので、保護者の方々にご連絡させていただきます。

1. ご家庭でのタブレット PC の接続環境について、ご協力をお願いいたします。

4 回目の緊急事態宣言を受け、また今後の感染状況を踏まえた児童生徒の学習支援を見据え、昨年度児童生徒一人 1 台ずつ配布させていただいたタブレット PC を活用し、学校現場においてのオンライン学習をさらに充実させるべく、現在取り組みを進めているところです。

ただ、タブレット PC の活用には家庭内での通信環境を一定整備していただく必要があります。現在、それぞれの学校から各ご家庭に通信環境等を確認させていただいているところですが、今後の教育活動を見据え、この機会に各ご家庭で必要に応じて適切な整備を進めていただければ幸いです。現在、市教育委員会では通信環境の整備支援として、ルーターの貸し出しを行っています。

ルーターとは、複数の異なるネットワークを接続するための装置で、タブレット PC の通信機能を担う機器です。もちろん、初期設置費用や通信料金等が発生し、ご家庭でご負担をおかけすることとなりますが、児童生徒の学習支援のためにご協力をお願いいたします。詳しいことは各学校を通じてご連絡をいただければ、個別に対応させていただきます。

ただし、タブレット PC を活用するオンライン学習を希望されない場合でも、緊急事態宣言下や自宅待機等を余儀なくされている時には、他の連絡方法やプリント学習等で児童生徒の学習支援を行ってまいりたいと考えておりますので、その旨を学校にご連絡ください。

2. オンライン授業には様々な形態・手法があり、これから実践と研究を積み重ねていく段階であることをご理解ください。

一口にオンライン授業と言いましても、下記のように様々な形態や手法があります。

①実際の教師の授業をリアルタイムで配信する同時双方向型授業

②インターネット上にある動画や音声などの学習コンテンツを必要な時に視聴するオンデマンド型授業

③タブレット PC のアプリケーションや関連サイトに接続する授業

④学校から配信・配布したプリント等を活用する授業

他にも様々な学習の形態や手法があり、それぞれの学習の形態や手法は教科や単元などの学

習内容や児童生徒の学習状況、通信環境等により複数の形態や手法を組み合わせることも考えていく必要があります。

ただ、いずれのオンライン学習においても、対面授業を中心に蓄積を重ねてきた学校教育においてはまだまだ試行錯誤の段階であり、今後実践や研究が進む中で成熟していくものと考えています。

市教育委員会におきましても、それぞれの学校における実践や研究を蓄積し交流するための支援を行っていきたいと考えていますが、現時点でそのような状況にあることは十分に理解していただきますよう、お願いいたします。

3. 現時点で、オンライン学習は、学校での対面授業を補完する学習であることをご理解ください。

前述しましたように、オンライン学習には様々な形態や手法がありますが、いずれにせよ、現段階では学校での対面授業を完全に補う学習とはなっていません。例えば、授業をリアルタイムで家庭に配信して学習を進めるにせよ、教師の動きや黒板の文字などをそのまま映し出すのは難しいと考えられますし、近隣の児童生徒の動きや意見をそのまま伝えることも困難です。また、動画配信においても、その内容を集中して視聴できる時間には限りがあり、またその場においてすぐに質問することも難しいと考えられます。

特に小学校の低学年の児童にとっては、オンライン学習による学習支援については、ご家庭のご協力が不可欠であり困難も予想されることから、プリント等による学習支援が中心にならざるを得ないと考えています。

学級における集団学習には、その学びの中に様々な要素が複雑に関連されて構成されており、だからこそ学校教育は児童生徒の学力保障の基盤であると考えています。

ただ、緊急事態宣言下において、お子様への感染やご家庭での健康管理等の意味から、登校することが不安である児童生徒に対して何らかの配慮とできるだけ学習支援を行うことが急務であると考え、オンライン学習を推進できる体制づくりを進めています。

なお、特別支援学校である川西養護学校については、オンライン学習をそのまま導入することは難しいと考えられますので、当該校長と教育委員会事務局で協議を継続しながら、支援の方法を考えていきたいと考えています。

以上、現時点でのオンライン学習についての考え方を示させていただきましたが、今後、緊急事態宣言が延長されたり、子どもを含めたさらなる感染拡大が予測されたりする中、対面授業の補完であってもオンライン学習を試行錯誤しながらも進めていく必要があると考えています。

児童生徒の学びをできるだけ止めないよう、各学校の教職員を始め、市教育委員会も様々な工夫と努力に努めてまいりますので、各ご家庭も趣旨をご理解の上、ご支援賜りますよう、お願いいたします。